

2022年ウミシヨウブ開花予想（西表島）

雌雄の花の一斉開花日の情報です。期間の前後にもう1日加えて頂ければ、見逃すことはないでしょう。最干潮時の前後1.5時間（合わせて3時間）が観察に適しています。

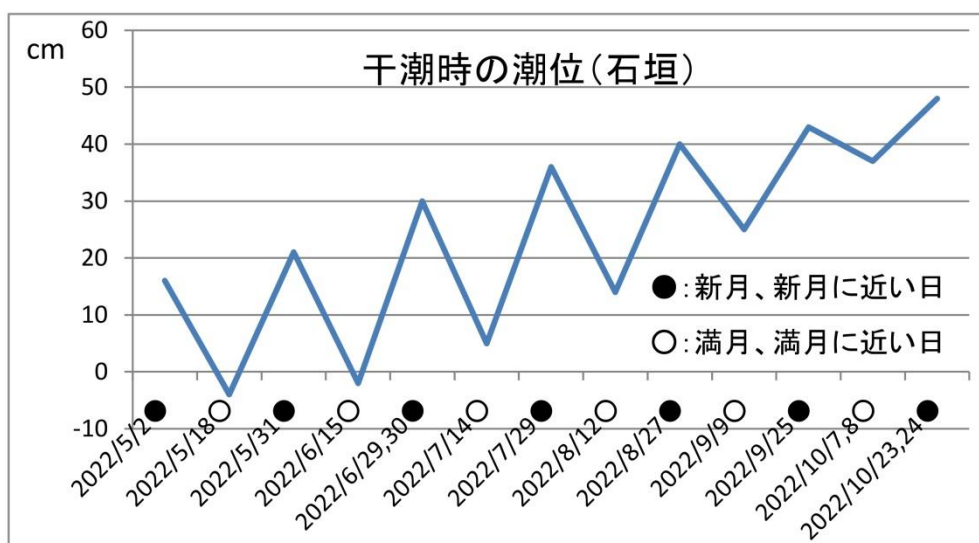
- ・可能性の高い日（台風等で観察が不可能な日以外は観察可能）
6月14、15、16日のいずれか一日か、連続する二日。
7月13、14、15日のいずれか一日か、連続する二日。
8月11、12、13日のいずれか一日か、連続する二日。
9月8、9、10日のいずれか一日か、連続する二日。
- ・可能性のある日
10月6、7、8日のいずれか一日か、連続する二日。
- ・若干可能性のある日
5月16、17、18日のいずれか一日か、連続する二日。

追加情報

- 1 今年の予想は満月か満月に近い日ですが、年によっては新月、新月に近い日の開花となります。また、年によっては連続する大潮で開花することがあります（月2回の開花等）。
- 2 数は極めて少ないですが、雄花は一斉開花日の3日ほど前から、また2日ほど後まで開花します。

ウミシヨウブの参考映像：

- ・ [動画](#)
- ・ [花のつくり](#)



観察藻場の状況とウミシヨウブ藻場の保全

数年前までホームページでウミシヨウブの開花予想をお伝えしていましたが、ウミガメの食害で開花が見られなくなりましたので、予想をしていませんでした。昨年、美田良、祖納、高那、それぞれの海岸のウミガメ食害防止柵内で開花が期待できましたので、開花予想日をお知らせしました。開花量は別として、開花が観察されました。今年の開花についてですが、祖納では昨夏の台風と冬期の波浪で食害防止柵が補修できないほど傷みましましたので、あまり期待できません。この海岸では保全区域を狭くすることにしました。美田良でも柵は傷みましたが、修繕によってある程度の観察はできると推測しています。高那では、狭い区域（14m x 18m）ですが、完全にモズク網で覆われて（閉じられて）いますので、開花は観察できるでしょう。ただし、あまりに狭い区域です。

昨年、地域の方から島の北東、野原崎の西側にウミシヨウブ藻場がありますと教えて頂き、カメラマンの方等と観察をしました。少なくとも5ヘクタールはある大規模な藻場で、アクセスに難はありますが（岸から徒歩20分ほど）、今年も確実に開花が、それも壮大な景観が、見られると思います（[「海を走る花を守れ！ウミシヨウブの現状 第4章」](#)）。

一方、ウミガメによる食害は全海域で確実に進んでいます（石垣島でも）。もちろん野原崎でも進んでいます（10年後に、藻場群落が残っているかどうか心配です）。美田良、祖納の海岸で海底にウミシヨウブの根茎が多数散乱している状況を見ると、深刻さを改めて確認することになります。カメラマンの方による映像等を用いて、行政等へ保全のための働きかけをしていますが、一向に保全の具体化が進んでいません。竹富町、石垣市の小中学校でウミシヨウブ藻場の深刻さが海での学習の対象になっていますので、教育委員会への働きかけをしようと思います。皆さん、何か保全のための提案はありませんでしょうか。もしクラウドファンディングをするのであれば、不成立でも支援（寄付）金が活動に使える方式が良いのですが、これには運営団体に制限があり、私どもの様な任意団体では申し込みができません。